**現行の排出抑制・資源化施策の進捗状況と課題の抽出について**

**資料３**

# 現行の排出抑制・資源化施策の進捗状況

前計画のごみの排出抑制や資源化に向け、行政における方策の進捗状況を以下に示します。

【進捗状況】

|  |
| --- |
| **Ａ**　計画どおり進行している　　　　　　**Ｂ**　おおむね計画どおり進行している**Ｃ**　計画より進行が遅れている　　　　　**Ｄ**　見直しが必要である |

 **行政における方策**

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 積極的な啓発、教育活動の展開 |
| （主な推進のための取り組み）① 広報がまごおり及び市ホームページ等による情報提供② クリーンセンター施設見学・３Ｒ促進ポスターコンクールの実施③ ごみ出しマナー教室（出前講座）の開催・５３０運動等の実践④ 地域可燃ごみ・資源ステーション運営の支援・クリーンサポーター制度の実施⑤ 資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」の普及促進⑥ 地域で行われる会議や行事等に出向き・周知啓発の実施⑦ 事業所への戸別訪問によるごみ搬出方法の指導 | **Ａ** |
| ２ | 小型家電等、必要に応じたごみの分別品目の見直し |
| （主な推進のための取り組み）① ピックアップ方式による小型家電リサイクル事業の実施② 小型家電ボックス回収の実施 | **Ａ** |
| ３ | 多量排出事業者等に対する減量化指導の徹底 |
| （主な推進のための取り組み）① 事業系ごみ処理手数料及び産業廃棄物処理手数料の改正② 事業系ごみ搬入時の展開検査の実施 | **Ｂ** |
| ４ | グリーン購入の推進 |
| （主な推進のための取り組み）　 蒲郡市役所における環境保全のための行動指針による再生品等の優先使用 | **Ｂ** |
| ５ | ごみ処理の有料化の実施（検討） |
| （主な推進のための取り組み）① 市民を対象とした負担額等に関する調査の実施② 家庭系ごみの有料化も含めたごみの減量化・資源化の取り組みの周知③ 周辺市町村の動向や不法投棄対策等課題の把握 | **Ｂ** |
| ６ | 草木類、し尿・下水汚泥などの有機性廃棄物の資源化 |
| （主な推進のための取り組み）① 草木類の一部チップ化② 下水汚泥の一部堆肥化 | **Ｂ** |
| ７ | 食品ロス削減の推進 |
| （主な推進のための取り組み）① 食品ロスダイアリー・生ごみ３キリ運動の推進② 学校・保育園等給食における食品ロス・生ごみ削減の推進 | **Ｃ** |

# 課題の抽出

## ごみの排出抑制・資源化における課題

【現状及び課題】

①原単位は減少傾向を示していますが（資料２,図2－1参照）、全国及び愛知県平均より高い値を示しています。

②燃やすごみの中には分別すれば資源として再資源化できる「紙類」や「プラスチック製容器包装」の資源物が含まれていると見込まれます。

③令和５年度の資源化率は15.1％です。類似都市平均14.4％[令和４年度]より高い値を示していますが、全国19.6％[同]、愛知県22.2％[同]よりは低い値となっています。

④古紙類においては、分別収集及び集団回収とは別にスーパーマーケット等に民間古紙回収ステーションがあり、独自の回収及び資源化が行われています。これにより量が把握できないことも、資源化率が低減している要因と考えられます。

⑤令和４年４月にプラスチック資源循環促進法が施行され、現在実施のプラスチック製容器包装に加え、プラスチック製品の分別収集、再商品化に取り組む必要があります。

## 収集運搬における課題

【現状及び課題】

⑥人口は減少していますが、世帯数が増加しています。

⑦今後高齢化が進み、ごみ出しが困難な高齢者世帯が増加することが予測されます。

## 中間処理における課題

【現状及び課題】

⑧蒲郡市クリーンセンター(焼却施設)は、基幹設備改良工事を実施し、令和16年度まで供用することが可能です。

⑨蒲郡市リサイクルプラザについては、稼働後24年（稼働開始：平成12年４月）が経過しており、内部の資源化設備については老朽化が進んでおり、メンテナンスを行っています。

## 最終処分における課題

【現状及び課題】

⑩蒲郡市一般廃棄物最終処分場の埋立終了年度は令和10年度（本計画目標年度）となっています。